



第7章 誘導施策

- 7-1 誘導施策の考え方
- 7-2 都市機能に関する施策
- 7-3 居住に関する施策
- 7-4 その他の施策

7-1 誘導施策の考え方

誘導施策は、基本方針（ターゲット）である「子育て世代が住み続けたい便利なまち」、「高齢者が住み続けられる快適なまち」、「若者世代が住みたい魅力的なまち」の考え方を基本に設定した誘導方針（ストーリー）に基づき、都市機能の誘導に関する施策、居住の誘導に関する施策、その他の施策を実施します。

7-2 都市機能に関する施策

(1) 中心市街地の賑わい創出

苫小牧駅を中心に賑わいと拠点性を高めるため、都市再生コンセプトプラン、市民文化ホール整備運営を推進します。

05 苫小牧都市再生コンセプトプランにおける「まちづくり」コンセプト

<Walk> + <Work> 苫小牧駅前再生と、結節点への回遊性

- 結節点1「苫小牧駅」駅前に再生を象徴するシンボルビルを構築し、駅前とまちをつなぐ拠点とする。シンボルビルは、公共施設、商業施設、オフィス、ワークスペース、福祉ステーション、住居など機能を複合させて、「Work」の拠点を創出。
- ここから、結節点2（仮称）苫小牧市立ホールにいたる「Walk」の拠点を、「1年生広場」歩行者専用歩道「カフェ」マルシェ空間「ストリートアート」川原町などを配置して、ワークカブに発展させていく。
- さらに、駅前の小公園に「アートイレイ」などを配置して、駅前の遊憩性や利便性を補強。苫小牧駅（仮称）で小牧1地区1号という縦の動線を、結節点3「日光のルネサンスパーク」に向かう縦の輸送へと誘導していく。



06 苫小牧都市再生コンセプトプランにおける「まちづくり」コンセプト

イメージパース（中心市街地）



出典：苫小牧都市再生コンセプトプラン調査報告書

図 7-1 苫小牧都市再生コンセプトプランイメージ

ウォカブルな都市計画（設計コンセプト）

ウォカブルな回遊動線を活かした緑・文化・ひとの接点



ゲートパークがつなぐ配置計画

憩いや潤いを生み出す「ゲートパーク」を整備



出典：苫小牧市民文化ホールに関する説明会資料

図 7-2 苫小牧市民文化ホールイメージ

7-3 居住に関する施策

(1) 移住に関する支援

苫小牧市での新規就業や市外からの移住を促し、まちの賑わいや住宅地での空き地、空き家の解消を目指した支援を行います。

【主要な施策】

- 住まいに関する情報の提供
- 苫小牧市オーダーマイド移住支援金に係る制度拡充の検討
- 空家バンク*の活用
- 空家解体補助金制度拡充の検討
- U I Jターン*新規就業支援事業

(2) 各種制度を活用した住宅市街地の再生

居住誘導区域内での施設の整備、維持にあたっては、都市構造再編集集中支援事業や都市公園ストック再編事業など国の支援策活用を検討します。

(3) 多様な世代が住み続けられる住環境の整備

若者から子育て世代、高齢者まで多様な世代が住み続けられる住環境として、市営住宅団地の建替えを推進します。

(4) 用途地域、地区計画等の見直し検討

土地利用の動向等を見据えながら、住宅、店舗、工場など用途が混在する地域の用途鈍化を図る用途地域の見直しや、良好な住環境の維持・形成を図る地区計画等を検討します。

7-4 その他の施策

(1) 歩行空間・公共空間の魅力の創出

歩行空間・公共空間の魅力創出に向けては、まちなかウォーカブル推進事業などの事業制度を活用し、市民が安全で歩きたくなる、歩行者ネットワーク空間を検討します。



出典：国土交通省資料

図 7-5 まちなかウォーカブル推進事業のイメージ

(2) 利便性の高い交通環境の整備・検討

「苫小牧市地域公共交通計画」との整合を図り、市民が安全・安心で円滑に移動ができる取組みを検討します。

【主要な施策】

- バス路線網効率化の検討
- 苫小牧市版 MaaS*構築事業の推進
- デマンド型コミュニティバス*の継続

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

参考資料